

# 「たま一家」

## 関さんとネコ一家のラブラブ物語



キャットタワーに家族全員勢揃い

関さんの家には6匹のネコ、たま一家がいる。もともとたまは、関さんの知人の会社に現れる、2匹の子どもを連れて野良のお母さんネコだった。「会社に住みついてしまうと処分されると聞いたので、捕まえて、家に連れてきて保護したんです。でも、保護したその日は子ネコが1匹だけどうしても捕まらなくて、翌日大雨の中をその子ネコを探しに行きました」

結局その日は見つけれなかったが、あきらめずに捜索を続け、3日後に行方不明だった子ネコがいないのを発見。無事、たま一家は再会する。ところが、関さんの家はペット禁止の物件だった。

「それで里親募集をしようと思ったんですけど、野良ちゃんだったので警戒心がものすごく、シャーってひっかかれて血だらけになってしまっ。このままだと里親も探せないから、少し人間に慣れるまで、大家さんに内緒で飼うことにしたんです」

1カ月が経ち、子ネコたちが少し甘えてくるようになって、「もう里親に出さずに、このまま一緒に暮らしたい」と思っていた頃、あれ？お母さんネコのお腹が大きくなっている……!? 「慌てて大家さんにネコを飼わせてほしいとお願いに行くと、私の必死な思いが通じて、飼うことを許してくれたんです。妊娠していることは事後報告だったのですが(笑)」

その後、たまは無事に子ネコを出産。たま一家は6匹に。「最初はなかなか心を開いてくれなかったたまも、今では私のヒザに乗ってきて甘えるようになりました。ネコたちはすごく仲良しで、1個のカゴに全員入ってくっついて寝ています。毎日ほのぼのとした気持ちで暮らせるのは、ネコたちのおかげです」



1個のカゴで眠るたま一家。このカゴに顔を埋めるのが、関さんの至福のとき



台湾のネコカフェ「猫花園」の花花(ホァホァ)ちゃん

「私の写真は、その場所で暮らす人たちのおかげで撮れたものばかりです。現地の方々のやさしいサポートは、私に撮る力を与えてくれました」

関さんの一生懸命さ、ネコに対する愛情の深さが、周囲の人々を「協力してあげたい」という熱い気持ちにさせるのだろう。「ネコ写真家」としてデビュー以来、仕事が途切れない関さんだが、独立

した直後から、ネコ写真家として活躍する幸せな未来を想像するようになっていたという。

「もちろん不安もいっぱいありましたが、あえてポジティブに、ワクワクすることだけを考えるようにしてきたんです。自分が幸せな気持ちで楽しんで撮らないと、『私の撮ったネコの写真で、みんなに笑ってもらいたい』という思いが、写真を見られる人たちに伝わらないですもんね」

**形も性格も、やつぱりネコが一番。ずっと撮り続けていきたいです**

これまでは依頼された写真を撮ることで精一杯だったが、今後は、自分が本当に撮りたい外で自由に暮らすネコたちの撮影に、もっと力を入れていきたいそうだ。

「その土地で暮らす、ありのままのネコの姿や人との触れ合いを見たいですし、厳しい環境でも自由自在のままに生きる姿に魅力を感じます」

す。どこか懐かしい風景の中に佇むネコが好きで、古い家並みが残るアジアの町によく撮影旅行に出かけていきましたが、今度はヨーロッパや北欧、南米のネコも追いかけてみたいですね。ほかの動物を撮影することもあるし、それぞれかわいいと感じますけど、やつぱりネコが一番！ネコの形も性格も大好きです。ずっと撮り続けていきたいですね」

「島のねこ」が出たらすぐに「CREA」のネコ特集号(04年9月号)で五島列島のネコを撮るお話をいただいた。当時、『CREA』のネコ特集号に載ることが目標だったので、興奮しました」

五島列島でも道に這いつくばってネコの撮影をしていたら、おまわりさんに怪しまれて(?)声をかけられたり、テレビの「田舎に泊まるう」のように、初対面のお

「CREA」(06年9月号)では、まだ日本にネコカフェが少ない頃に、台湾のネコカフェの取材にも行きました。この記事が出たあと、日本でもネコカフェがどんどん出店され始め、ブームになってびっくりしました」

台湾では、現地の有名なネコカフェと偶然出会い、3日間もかけてネコのいるスポットまで案内してもらったこと。

「私の写真は、その場所で暮らす人たちのおかげで撮れたものばかりです。現地の方々のやさしいサポートは、私に撮る力を与えてくれました」

関さんの一生懸命さ、ネコに対する愛情の深さが、周囲の人々を「協力してあげたい」という熱い気持ちにさせるのだろう。「ネコ写真家」としてデビュー以来、仕事が途切れない関さんだが、独立



田代島の3色ネコトリオ(写真集「ねこじま」より)

## お気に入りの10冊を選んでもらいました



### はじめてのみや

生後1~45日の赤ちゃんだけを撮り下ろした最新刊。「心が真っ白な子ネコたちが、大きな声でなで、懸命に生きようとしている姿にキュンとききました。元気に成長してねと思いながら撮りました」(有峰書店新社 ¥1300)



### 猫カフェ

ネコカフェ22店舗、約200匹のネコデータ&肉球ショットを収録。『CREA』で取材した台湾のネコカフェも載っています。初めて訪れたネコカフェで一度にたくさんネコを見たときの興奮は忘れません」(竹書房 ¥1300)



### 子猫本 and シール

生後3カ月以内の子ネコばかりを集めたかわいいシール付きブック。「子どもへの贈り物にもいいですよ。ネコカフェで取材中に編集者の方と知り合ったことがきっかけで、出せた本です」(有峰書店新社 ¥1000)



### そのこまる

養老孟司先生とネコの営業部長まるの愛情溢れる一冊。「養老先生とまるちゃんの絆が少しでも表現できたらいいな」と思い撮影しました。まるちゃんは大きくて風格があって人間みたいでした」(武田ランダムハウス ¥1575)



### CAT'S & I—私の猫の愛し方

7名のネコ好き女性タレントと彼女たちの愛猫が登場。「スタッフみんな笑顔の撮影現場でした。ハウススタジオでの撮影でしたが、普段のふたりを撮りたいと思いながら撮影しました」(ソニー・マガジンス ¥1280)

